



国勢調査

— 平成 22 年国勢調査 —
従業地・通学地による
人口・産業等集計結果
(大阪府)

平成 22 (2010) 年 10 月 1 日現在



公表日：平成 24 年 9 月 11 日

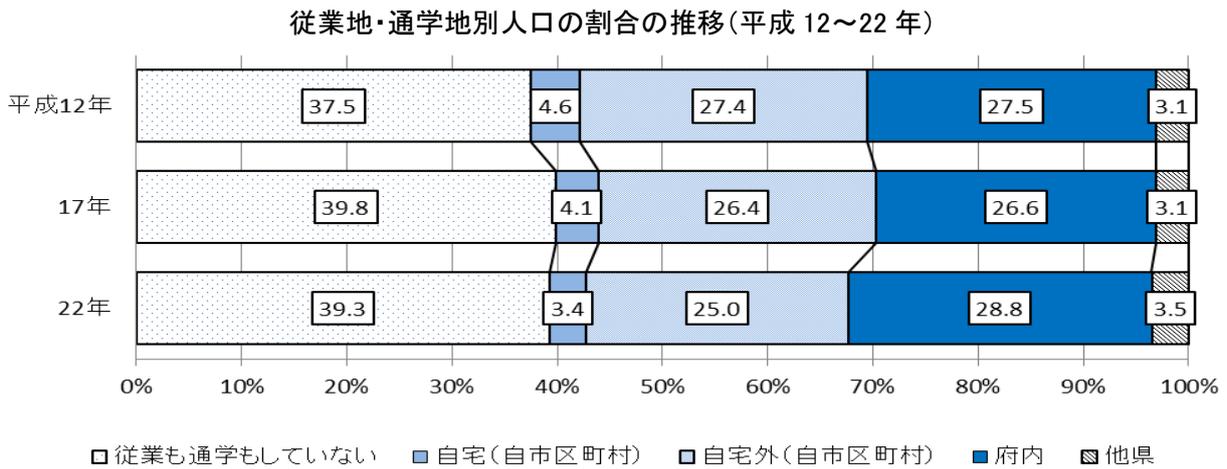
大阪府総務部統計課

平成22年国勢調査 従業地・通学地による人口・産業等集計結果(大阪府)の概要

1 従業地・通学地別人口

自市区町村で従業・通学する者の割合は減少傾向

大阪府内人口に占める従業地・通学地別の割合をみると、「従業も通学もしていない」が39.3%、「自市区町村で従業・通学」が28.4%、「他市区町村で従業・通学」が32.3%。「自市区町村で従業・通学」の割合は、調査開始以来最も低い水準に。

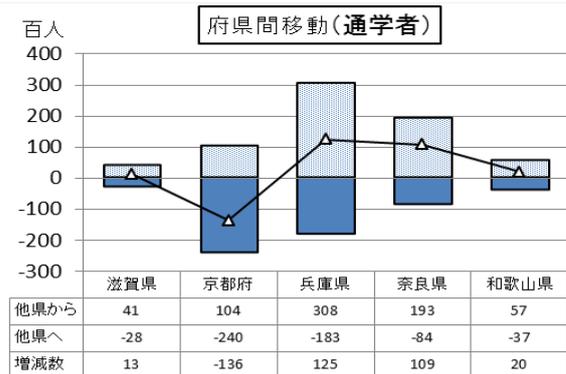
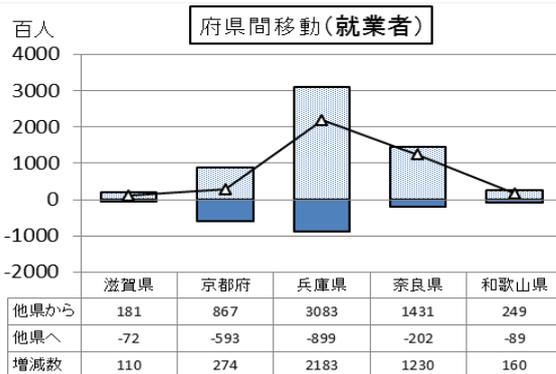
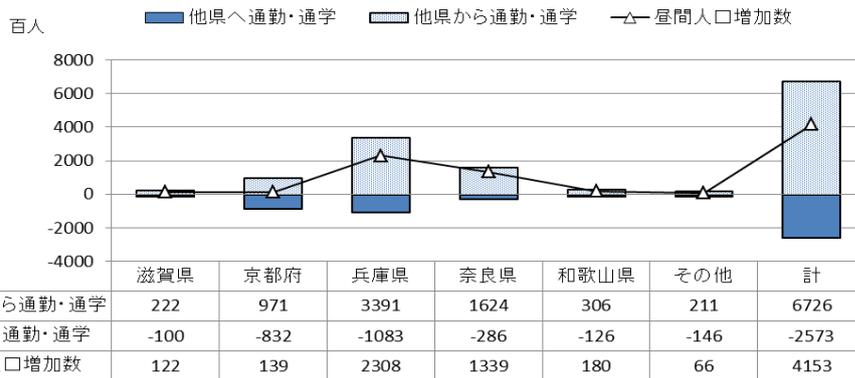


2 流入・流出口

流入人口の約5割は兵庫県から

大阪府への流入人口は67万2617人。主な内訳は兵庫県からの流入人口が33万9087人(全体の5割)と最も多く、次いで奈良県から16万2434人など。大阪府からの流出人口は25万7303人。主な内訳は兵庫県への流出人口が10万8280人と最も多く、次いで京都府へ8万3239人など。

流入・流出口、就業者及び通学者(近畿府県)(平成22年)

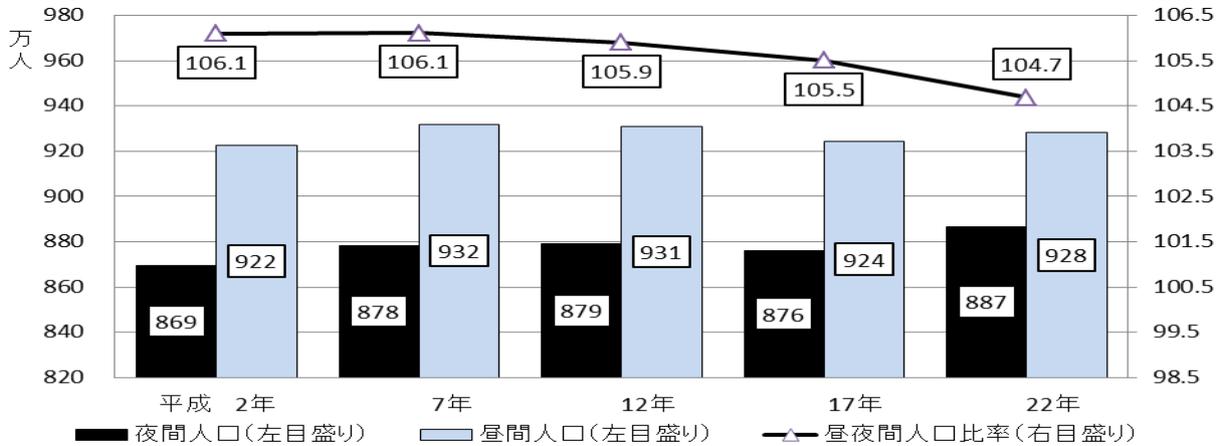


3 昼間人口、夜間人口、昼夜間人口比率

大阪府の昼間人口は928万人で夜間人口を41万人上回る

大阪府の昼間人口は928万560人で、夜間人口（常住地による総人口886万5245人）を41万5315人上回る。昼夜間人口比率は104.7で、平成7年をピークに低下。

夜間人口、昼間人口、昼夜間人口比率の推移(平成2~22年)



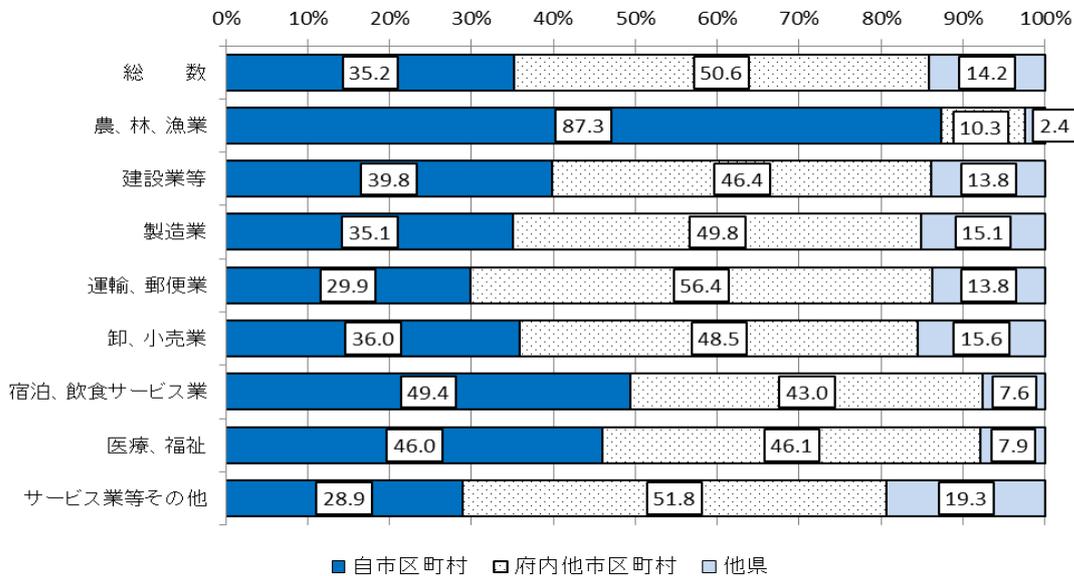
4 従業地による就業者(産業別)

「宿泊業、飲食サービス業」、「医療・福祉」は自市区町村での従業者が多い

従業地による15歳以上就業者を常住地別の割合で見ると、「自市区町村」に常住する就業者は35.2%、「府内他市区町村」に常住する就業者は50.6%、「他県」に常住する就業者は14.2%となっている。

産業別では「宿泊業、飲食サービス業」、「医療・福祉」は自市区町村での従業者が多い。

従業地による産業(大分類)、15歳以上就業者の割合(平成22年)



5 利用交通手段

「鉄道・電車」のみに次いで「自転車」のみの割合が高い

15歳以上自宅外就業者・通学者の利用交通手段別の割合をみると、「鉄道・電車」のみの割合が28.6%と最も高く、次いで「自転車」のみの割合が21.9%、「自家用車」のみの割合が19.1%。

これを市町村別にみると、「鉄道・電車」のみでは島本町、大阪市、吹田市が高く、「自転車」のみでは門真市、守口市、東大阪市が高く、「自家用車」のみでは能勢町、千早赤阪村、河南町が高い。

用語の解説

〈従業地・通学地〉

「従業地・通学地」とは、就業者が従業している又は通学者が通学している場所をいい、次のとおり区分している。

- 「**自市区町村**」・・・従業・通学先が常住している市区町村と同一の市区町村にある場合
 - ・「**自宅**」・・・従業している場所が、自分の居住する家又は家に附属した店・作業場などである場合
 - ・「**自宅外**」・・・常住地と同じ市区町村に従業・通学先がある人で上記の「自宅」以外の場合
- 「**他市区町村**」・・・従業・通学先が常住している市区町村以外にある場合
 - ・「**府内**」・・・従業・通学先が常住地と同じ都道府県内の他の市区町村にある場合
 - ・「**他県**」・・・従業・通学先が常住地と異なる都道府県にある場合

〈流入・流出口〉

- 流入人口** ・・・他都道府県から大阪府へ(他市区町村から当該市区町村へ)の通勤・通学者数
- 流出人口** ・・・大阪府から他都道府県へ(当該市区町村から他市区町村へ)の通勤・通学者数

〈夜間人口と昼間人口、昼夜間人口比率〉

- 夜間人口(常住地による人口)**
 - ・・・調査時に調査の地域に常住している人口である (いわゆる国勢調査人口)
- 昼間人口(従業地・通学地による人口)**
 - ・・・従業地・通学地集計の結果を用いて、次により算出された人口である
 - [昼間人口の算出方法]
 - $$\text{昼間人口} = \text{夜間人口} - \text{流出人口} + \text{流入人口}$$
- 昼夜間人口比率**
 - ・・・次式により算出され、100を上回っているときは昼間人口が夜間人口を上回ることを示し、100を下回っているときは昼間人口が夜間人口を下回ることを示している
 - [昼夜間人口比率の算出方法]
 - $$\text{昼夜間人口比率} = (\text{昼間人口} / \text{夜間人口}) \times 100$$

【その他の用語】

その他の用語については、『平成22年国勢調査 調査結果の利用案内－ユーザーズガイド－』をご参照ください。

URL <http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2010/users-g.htm>

【数値の見方】

- ・ 本文及び図表中の数値は、表章単位未満で四捨五入している。そのため合計と内訳の計が一致しないことがある。
- ・ 割合は、過去も含め分母から不詳を除いて算出している。

平成 22 年国勢調査 従業地・通学地による人口・産業等集計

目次

1 従業地・通学地別人口	1
表 1-1 従業地・通学地別人口の推移（平成 12～22 年）	1
図 1-1 従業地・通学地別人口の割合の推移（平成 12～22 年）	1
表 1-2 男女別、従業地別 15 歳以上就業者数（平成 22 年）	2
図 1-2 男、年齢（5 歳階級）、従業地別 15 歳以上就業者の割合（平成 22 年）	2
図 1-3 女、年齢（5 歳階級）、従業地別 15 歳以上就業者の割合（平成 22 年）	3
図 1-4 女、年齢（5 歳階級）、就業者率と他市区町村就業者の割合（平成 22 年）	3
図 1-5 従業地・通学地別人口の割合（市町村）（平成 22 年）	4
表 1-3 従業地・通学地別人口（市町村）（平成 22 年）	4
2 流入・流出人口	5
表 2-1 流入・流出人口の推移（近畿府県）（平成 12～22 年）	5
図 2-1 流入・流出人口、府県別構成比（近畿）（平成 22 年）	5
表 2-2 流入・流出人口、就業者及び通学者（近畿府県）（平成 17、22 年）	6
図 2-2 流入・流出人口、就業者及び通学者（近畿府県）（平成 22 年）	6
表 2-3 近畿府県から府内市町村への流入人口、就業者及び通学者（平成 22 年）	7
3 昼間人口、夜間人口、昼夜間人口比率	8
表 3-1 夜間人口、昼間人口、昼夜間人口比率の推移（平成 2～22 年）	8
図 3-1 夜間人口、昼間人口、昼夜間人口比率の推移（平成 2～22 年）	8
表 3-2 夜間人口、昼間人口、昼夜間人口比率（市町村）（平成 22 年）	9
図 3-2 昼夜間人口比率（市町村）（平成 22 年）	9
表 3-3 夜間人口、昼間人口、昼夜間人口比率（市区町村）（平成 22 年）	10
4 従業地による就業者（産業別）	11
表 4-1 常住地・従業地による産業（大分類）、15 歳以上就業者数（平成 22 年）	11
図 4-1 従業地による産業（大分類）、15 歳以上就業者の割合（平成 22 年）	11
表 4-2 従業地による産業（大分類）、15 歳以上就業者数（府内 8 地域）（平成 22 年）	12
図 4-2 従業地による産業（大分類）、15 歳以上就業者の割合（府内 8 地域）（平成 22 年）	12
5 利用交通手段	13
表 5-1 利用交通手段別 15 歳以上自宅外就業者・通学者の割合（市町村）（平成 22 年）	13
表 5-2 主な利用交通手段別就業者・通学者の割合（市町村）（平成 22 年）	14

1 従業地・通学地別人口

自市区町村で従業・通学する者の割合は減少傾向

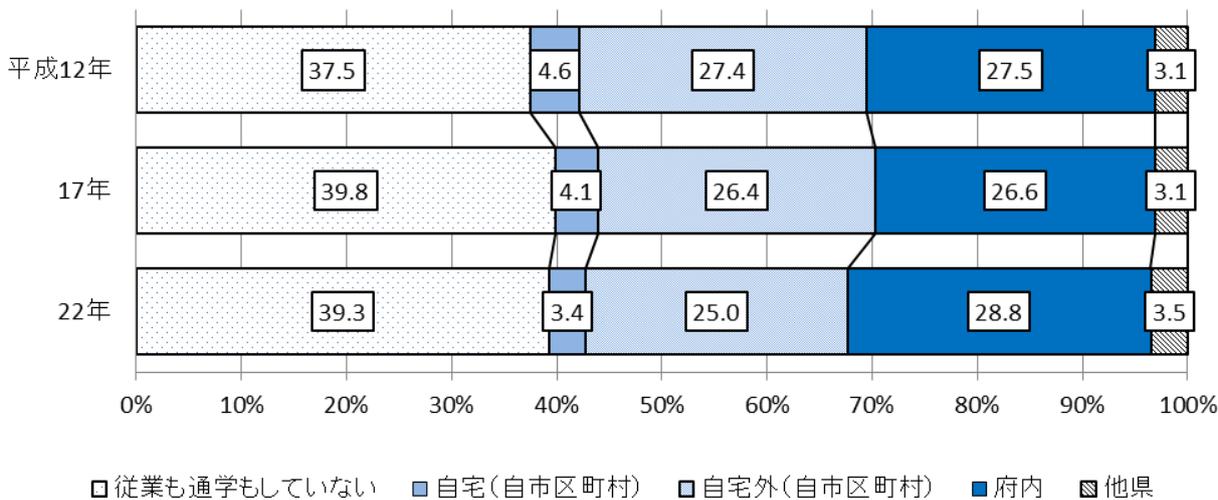
大阪府内人口に占める従業地・通学地別の割合をみると、「従業も通学もしていない」が39.3%、「自市区町村で従業・通学」が28.4%、「他市区町村で従業・通学」が32.3%となっている。平成17年と比べると「従業も通学もしていない」が0.5ポイントの低下、「自市区町村で従業・通学」が2.1ポイントの低下、「他市区町村で従業・通学」は2.6ポイントの上昇となり、「自市区町村で従業・通学」の割合は、調査開始以来最も低い水準となった。

表 1-1 従業地・通学地別人口の推移(平成12~22年)

従業地・通学地	実数(人)			割合(%)		
	平成12年 1)	17年 1)	22年	12年	17年	22年
常住人口(夜間人口) 2)	8,789,354	8,759,033	8,865,245	100.0	100.0	100.0
従業も通学もしていない	3,222,704	3,369,413	3,120,810	37.5	39.8	39.3
自市区町村で従業・通学	2,747,819	2,574,649	2,252,157	32.0	30.5	28.4
自宅	397,324	345,497	269,329	4.6	4.1	3.4
自宅外	2,350,495	2,229,152	1,982,828	27.4	26.4	25.0
他市区町村で従業・通学 3)	2,623,195	2,511,232	2,567,291	30.5	29.7	32.3
府内 4)	2,359,552	2,249,169	2,110,364	27.5	26.6	28.8
他県 4)	263,643	262,063	257,303	3.1	3.1	3.5
不詳	195,636	303,739	924,987	—	—	—

- 1) 年齢不詳を除く。
- 2) 労働力状態「不詳」を含む。
- 3) 実数は従業・通学先「不詳」を含む。
- 4) 「府内」及び「他県」の割合は、「他市区町村」に占める割合(従業・通学先市区町村「不詳」を除いて算出)に、総数に占める「他市区町村」の割合(従業地・通学地「不詳」を除いて算出)を乗じて算出している。

図 1-1 従業地・通学地別人口の割合の推移(平成12~22年)



就業者の6割が他市区町村で従業

15歳以上就業者に占める従業地別の割合をみると、「自市区町村で従業」が40.1%、「他市区町村で従業」が59.9%となっている。男女別にみると、男性は「自市区町村で従業」が33.6%、「他市区町村で従業」が66.4%、女性は「自市区町村で従業」が48.8%、「他市区町村で従業」が51.2%となり、男性の約3分の2、女性の2分の1以上が、他市区町村で従業している。

これを男女別に5歳階級別の割合でみると、「他市区町村で従業」は男性では35～39歳及び40～44歳が72.5%と最も高いが、25～54歳については7割以上の者が他市区町村で従業しているのに対し、女性では25～29歳で69.1%と最も高くなり、30～34歳以降は一貫して低下している。

表 1-2 男女別、従業地別 15歳以上就業者数(平成22年)

区分	就業者数	自市区町村で従業			他市区町村で従業 ¹⁾			不詳	
		自宅	自宅外	府内	他県				
実数(人)	15歳以上総数	3,815,052	1,484,069	269,328	1,214,741	2,212,523	1,860,482	198,537	118,460
	男	2,181,227	708,178	153,798	554,380	1,399,268	1,156,192	145,317	73,781
	女	1,633,825	775,891	115,530	660,361	813,255	704,290	53,220	44,679
割合(%)	15歳以上総数	100.0	40.1	7.3	32.9	59.9	54.1	5.8	—
	男	100.0	33.6	7.3	26.3	66.4	59.0	7.4	—
	女	100.0	48.8	7.3	41.6	51.2	47.6	3.6	—

1) 従業先「不詳」を含む。

図 1-2 男、年齢(5歳階級)、従業地別 15歳以上就業者の割合(平成22年)

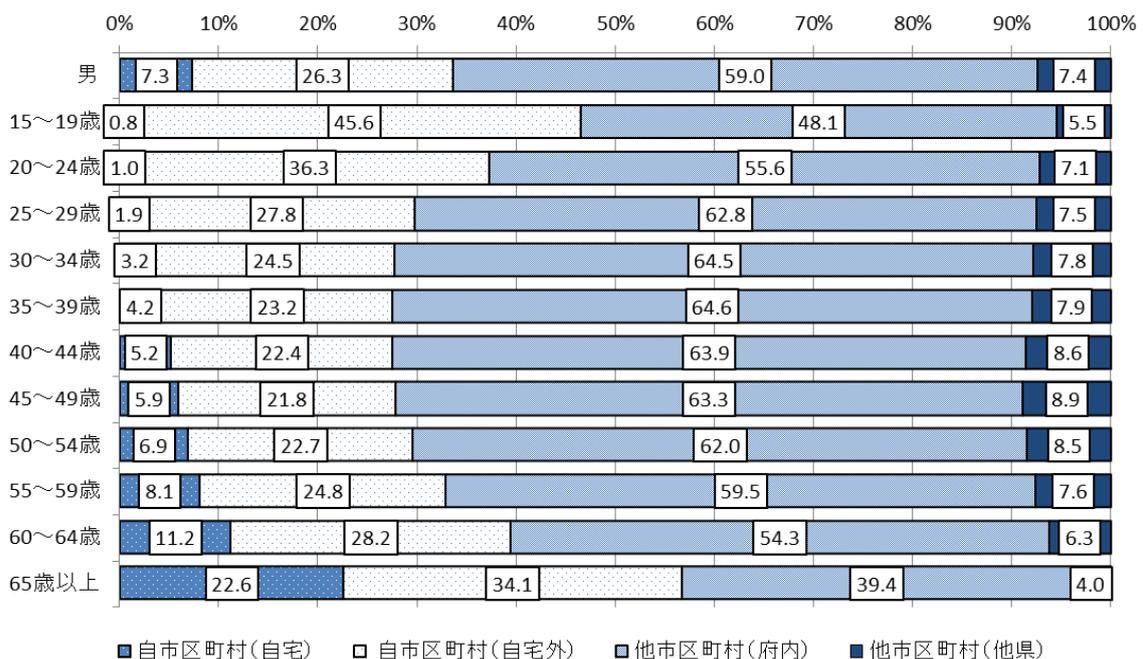
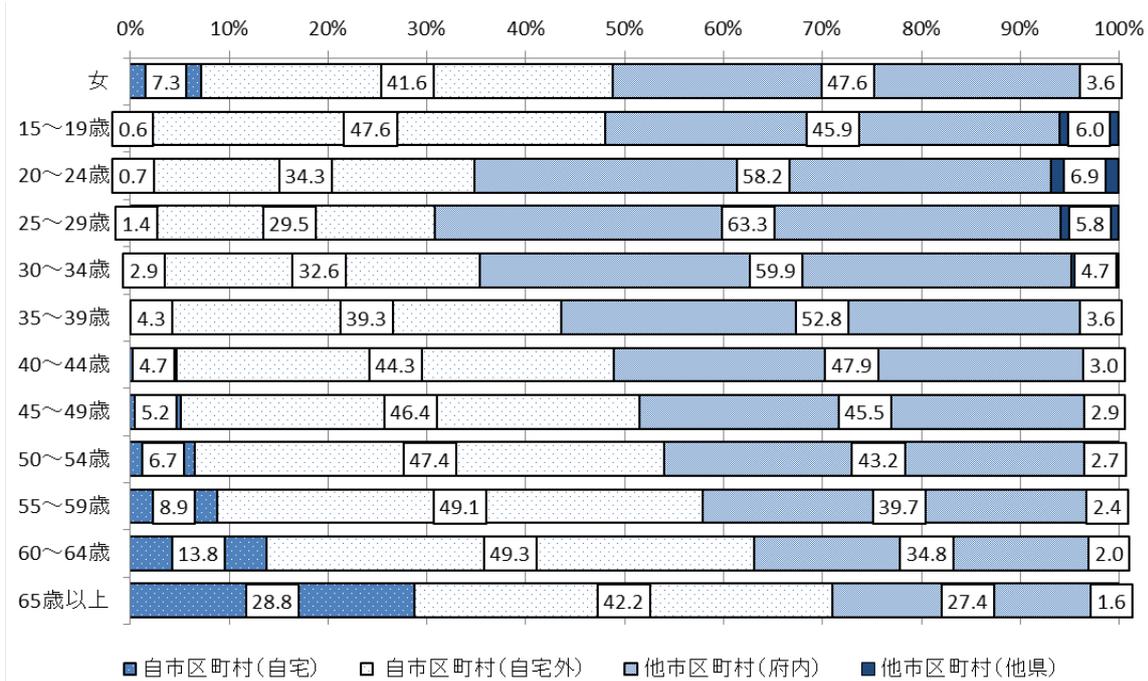


図 1-3 女、年齢(5 歳階級)、従業地別 15 歳以上就業者の割合(平成 22 年)

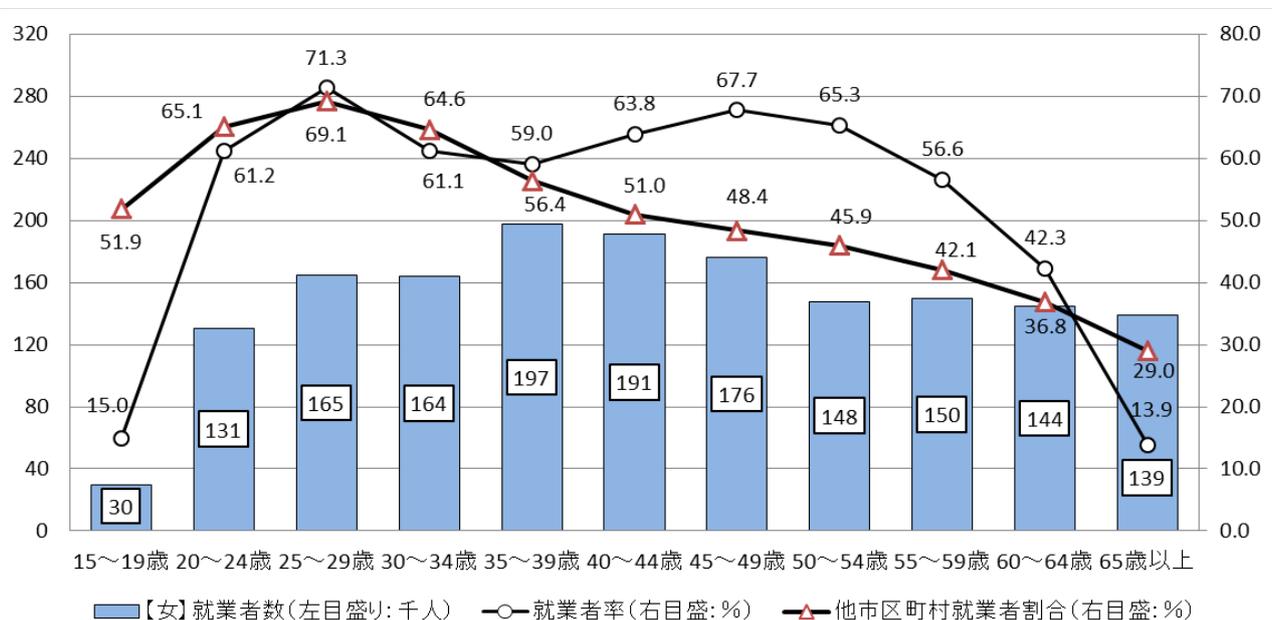


★ M字カーブ、仕事は復帰しても職場は自宅近くで…★

15 歳以上女性の就業者率を年齢 5 歳階級別にみると、グラフはM字カーブを描き、山は 25～29 歳と 45～49 歳で、谷は 35～39 歳となっている。

一方、「他市区町村」で従業する女性の割合は、就業者率と同様に 25～29 歳で最も高くなるが、年齢とともに低下しており、45～49 歳で就業者率は上昇しても、その従業先は「他市区町村」から「自市区町村」へと変化していることが見てとれる。

図 1-4 女、年齢(5 歳階級)、就業者率と他市区町村就業者の割合(平成 22 年)



自市区町村で従業・通学する割合が最も高いのは東大阪市で6割

就業者及び通学者の従業地・通学地別の割合を市町村別にみると、「自市区町村で従業・通学」は東大阪市、泉佐野市、八尾市の割合が高く、「府内（他市区町村）で従業・通学」は千早赤阪村、太子町、忠岡町の割合が高く、「他県」では島本町、能勢町、豊能町の割合が高い。

図 1-5 従業地・通学地別人口の割合(市町村)(平成 22 年)

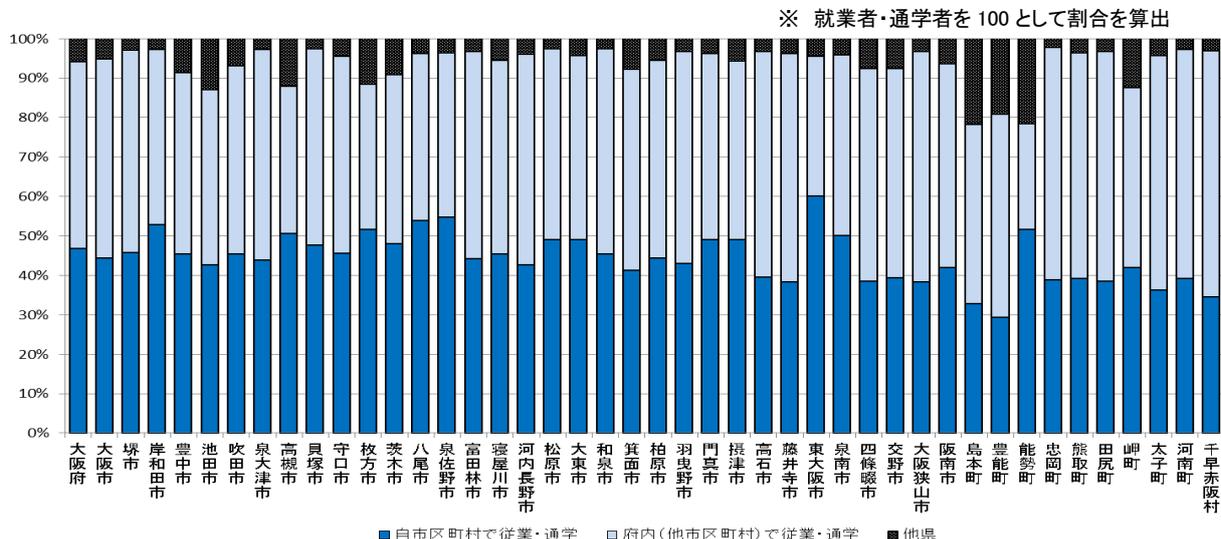


表 1-3 従業地・通学地別人口(市町村)(平成 22 年)

市町村	実 数 (人)								割 合 (%)							
	総数 (夜間人口)	従業も通学も していない	自市区町村で 従業・通学	自宅	自宅外	他市区町村で 従業・通学 (1)	府内	他県	不詳	従業も 通学も しない	自市区 町村で 従業・ 通学	自宅	自宅外	他市区 町村で 従業・ 通学	府内 (2)	他県 (2)
大阪府	8,865,245	3,120,810	2,252,157	269,329	1,982,828	2,567,291	2,110,364	257,303	924,987	39.3	28.4	3.4	25.0	32.3	28.8	3.5
大阪市	2,665,314	865,437	611,391	94,311	517,080	765,308	627,202	64,712	423,178	38.6	27.3	4.2	23.1	34.1	30.9	3.2
堺市	841,966	293,820	209,792	22,352	187,440	248,189	213,299	12,091	90,165	39.1	27.9	3.0	24.9	33.0	31.2	1.8
岸和田市	199,234	67,926	58,903	6,221	52,682	52,458	44,363	2,684	19,947	37.9	32.9	3.5	29.4	29.3	27.6	1.7
豊中市	389,341	133,030	99,760	10,096	89,664	119,617	92,785	17,606	36,934	37.7	28.3	2.9	25.4	33.9	28.5	5.4
池田市	104,229	38,066	24,657	2,838	21,819	33,089	24,071	6,998	8,417	39.7	25.7	3.0	22.8	34.5	26.8	7.8
吹田市	355,798	125,901	93,191	7,690	85,501	112,061	92,401	13,569	24,645	38.0	28.1	2.3	25.8	33.8	29.5	4.3
泉大津市	77,548	26,134	19,123	2,161	16,962	24,575	21,418	1,089	7,716	37.4	27.4	3.1	24.3	35.2	33.5	1.7
高槻市	357,359	137,255	98,534	7,928	90,606	95,986	67,466	22,026	25,584	41.4	29.7	2.4	27.3	28.9	21.8	7.1
貝塚市	90,519	35,984	25,209	2,904	22,305	27,675	24,498	1,265	1,651	40.5	28.4	3.3	25.1	31.1	29.6	1.5
守口市	146,697	49,672	35,120	5,203	29,917	41,837	34,182	3,074	20,068	39.2	27.7	4.1	23.6	33.0	30.3	2.7
枚方市	407,978	155,926	115,900	9,162	106,738	108,716	78,566	24,487	27,436	41.0	30.5	2.4	28.0	28.6	21.8	6.8
茨木市	274,822	101,337	75,707	6,502	69,205	82,169	64,549	13,753	15,609	39.1	29.2	2.5	26.7	31.7	26.1	5.6
八尾市	271,460	99,561	79,185	9,110	70,075	67,985	57,331	5,145	24,729	40.4	32.1	3.7	28.4	27.6	25.3	2.3
泉佐野市	100,801	38,083	31,670	4,098	27,572	26,109	22,912	2,010	4,939	39.7	33.0	4.3	28.8	27.2	25.0	2.2
富田林市	119,576	43,874	29,886	3,221	26,665	37,754	33,107	2,080	8,062	39.3	26.8	2.9	23.9	33.9	31.9	2.0
寝屋川市	238,204	86,579	60,039	6,628	53,411	72,134	59,677	6,816	19,452	39.6	27.4	3.0	24.4	33.0	29.6	3.4
河内長野市	112,490	45,239	25,705	2,811	22,894	34,657	30,464	2,234	6,889	42.8	24.3	2.7	21.7	32.8	30.6	2.2
松原市	124,594	51,935	34,240	3,965	30,275	35,557	31,492	1,728	2,862	42.7	28.1	3.3	24.9	29.2	27.7	1.5
大東市	127,534	47,036	35,275	3,519	31,756	36,769	31,709	2,950	8,454	39.5	29.6	3.0	26.7	30.9	28.2	2.6
和泉市	184,988	66,298	47,046	5,064	41,982	56,761	50,850	2,589	14,883	39.0	27.7	3.0	24.7	33.4	31.8	1.6
箕面市	129,895	46,322	30,433	3,473	26,960	43,478	35,893	5,523	9,662	38.5	25.3	2.9	22.4	36.2	31.3	4.8
柏原市	74,773	26,740	19,513	2,473	17,040	24,489	20,942	2,320	4,031	37.8	27.6	3.5	24.1	34.6	31.2	3.5
羽曳野市	117,681	45,291	28,459	3,851	24,608	37,742	33,064	2,074	6,189	40.6	25.5	3.5	22.1	33.9	31.9	2.0
門真市	130,282	46,484	33,686	4,269	29,417	35,110	29,466	2,349	15,002	40.3	29.2	3.7	25.5	30.5	28.2	2.2
摂津市	83,720	29,644	23,588	2,629	20,959	24,577	20,397	2,538	5,911	38.1	30.3	3.4	26.9	31.6	28.1	3.5
高石市	59,572	23,933	13,064	1,585	11,479	19,952	17,922	1,025	2,623	42.0	22.9	2.8	20.2	35.0	33.1	1.9
藤井寺市	66,165	26,412	14,028	1,856	12,172	22,513	19,754	1,280	3,212	42.0	22.3	2.9	19.3	35.8	33.6	2.2
東大阪市	509,533	166,514	165,777	17,918	147,859	110,473	87,401	10,823	66,769	37.6	37.4	4.0	33.4	25.0	22.2	2.7
泉南市	64,403	27,396	17,295	2,177	15,118	17,307	15,433	1,408	2,405	44.2	27.9	3.5	24.4	27.9	25.6	2.3
四條畷市	57,554	21,244	11,943	1,568	10,375	19,096	16,034	2,273	5,271	40.6	22.8	3.0	19.8	36.5	32.0	4.5
交野市	77,686	30,523	17,658	1,940	15,718	27,218	23,228	3,361	2,287	40.5	23.4	2.6	20.8	36.1	31.5	4.6
大阪狭山市	58,227	22,671	12,609	1,472	11,137	20,351	18,202	1,031	2,596	40.8	22.7	2.6	20.0	36.6	34.6	2.0
阪南市	56,646	23,969	13,056	1,604	11,452	18,102	15,689	1,949	1,519	43.5	23.7	2.9	20.8	32.8	29.2	3.6
島本町	28,935	11,261	5,586	600	4,986	11,446	7,472	3,577	642	39.8	19.7	2.1	17.6	40.5	27.4	13.1
豊能町	21,989	9,282	3,636	715	2,921	8,749	6,170	2,296	322	42.8	16.8	3.3	13.5	40.4	29.4	11.0
能勢町	11,650	4,389	3,618	887	2,731	3,395	1,824	1,462	248	38.5	31.7	7.8	24.0	29.8	16.5	13.2
忠岡町	18,149	7,441	3,703	649	3,054	5,814	5,434	214	1,191	43.9	21.8	3.8	18.0	34.3	33.0	1.3
熊取町	45,069	17,012	10,523	1,407	9,116	16,391	14,911	950	1,143	38.7	24.0	3.2	20.8	37.3	35.1	2.2
田尻町	8,085	2,808	1,791	241	1,550	2,861	2,500	143	625	37.6	24.0	3.2	20.8	38.4	36.3	2.1
岬町	17,504	8,117	3,789	548	3,241	5,263	4,024	1,088	335	47.3	22.1	3.2	18.9	30.7	24.1	6.5
太子町	14,220	5,009	3,119	595	2,524	5,506	4,832	347	586	36.7	22.9	4.4	18.5	40.4	37.7	2.7
河南町	17,040	6,590	3,839	792	3,047	5,940	5,478	268	671	40.3	23.5	4.8	18.6	36.3	34.6	1.7
千早赤阪村	6,015	2,665	1,111	296	815	2,112	1,952	98	127	45.3	18.9	5.0	13.8	35.9	34.2	1.7

1) 従業・通学先市区町村「不詳」を含む。

2) 「府内」及び「他県」の割合は、「他市区町村」に占める割合(従業・通学先市区町村「不詳」を除いて算出)に、総数に占める「他市区町村」の割合(従業地・通学地「不詳」を除いて算出)を乗じて算出している。

2 流入・流出口

流入人口の約5割は兵庫県から

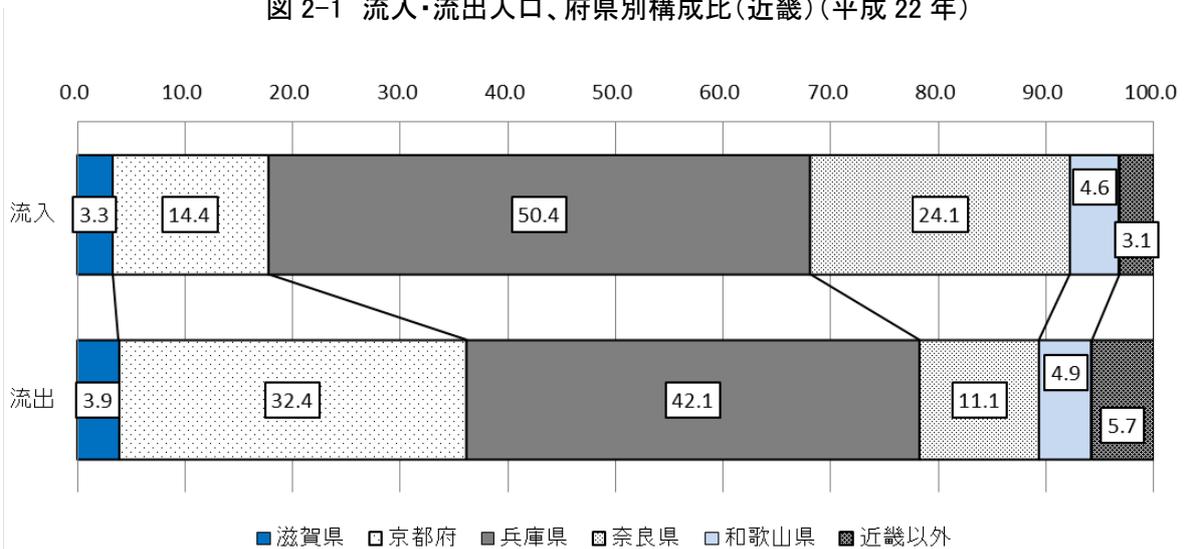
他都道府県から大阪府への流入人口は67万2617人となっており、主な内訳は兵庫県からの流入人口が33万9087人（全体の5割）と最も多く、次いで奈良県から16万2434人、京都府から9万7102人、和歌山県から3万625人、滋賀県から2万2233人となっている。

また、大阪府から他都道府県への流出人口は25万7303人となっており、主な内訳は兵庫県への流出人口が10万8280人と最も多く、次いで京都府へ8万3239人、奈良県へ2万8583人、和歌山県へ1万2624人、滋賀県へ9991人となっている。

表 2-1 流入・流出人口の推移(近畿府県)(平成12~22年)

都道府県	実 数 (人)			構 成 比 (%)			増 減 数(人)		
	平成12年	17年	22年	平成12年	17年	22年	12年~17年	17年~22年	
大阪府への流入人口	総 数	782,526	744,498	672,617	100.0	100.0	100.0	△ 38,028	△ 71,881
	滋賀県 から	24,870	24,386	22,233	3.2	3.3	3.3	△ 484	△ 2,153
	京都府 から	112,492	106,869	97,102	14.4	14.4	14.4	△ 5,623	△ 9,767
	兵庫県 から	376,406	366,674	339,087	48.1	49.3	50.4	△ 9,732	△ 27,587
	奈良県 から	206,889	185,833	162,434	26.4	25.0	24.1	△ 21,056	△ 23,399
	和歌山県 から	35,647	34,151	30,625	4.6	4.6	4.6	△ 1,496	△ 3,526
	近畿以外 から	26,222	26,585	21,136	3.4	3.6	3.1	363	△ 5,449
大阪府からの流出人口	総 数	263,643	262,063	257,303	100.0	100.0	100.0	△ 1,580	△ 4,760
	滋賀県 へ	9,056	9,786	9,991	3.4	3.7	3.9	730	205
	京都府 へ	80,642	80,490	83,239	30.6	30.7	32.4	△ 152	2,749
	兵庫県 へ	114,873	108,364	108,280	43.6	41.4	42.1	△ 6,509	△ 84
	奈良県 へ	32,480	30,462	28,583	12.3	11.6	11.1	△ 2,018	△ 1,879
	和歌山県 へ	12,555	12,443	12,624	4.8	4.7	4.9	△ 112	181
	近畿以外 へ	14,037	20,518	14,586	5.3	7.8	5.7	6,481	△ 5,932

図 2-1 流入・流出人口、府県別構成比(近畿)(平成22年)



対京都府では通学者の流出が流入を上回る

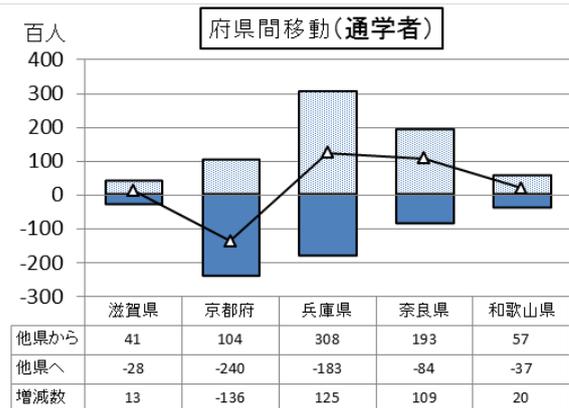
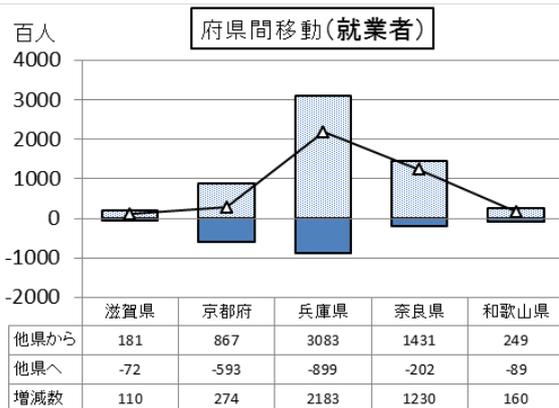
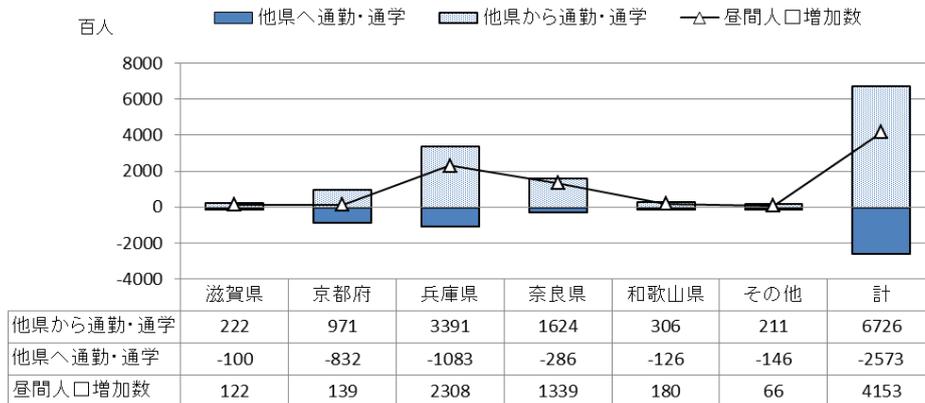
平成 22 年の流入人口を就業者・通学者別にみると、兵庫県が就業者（30 万 8251 人）、通学者（3 万 836 人）ともに最も多い。一方、流出人口では、就業者は兵庫県（8 万 9932 人）が最も多く、通学者は京都府（2 万 3984 人）が最も多い。また、流入超過人口では京都府の通学者のみが流出超過で、マイナス 1 万 3556 人となっている。

表 2-2 流入・流出人口、就業者及び通学者(近畿府県)(平成 17、22 年)

都道府県	総数(人)			就業者(人)			通学者 ¹⁾ (人)			
	平成17年	22年	増減数	平成17年	22年	増減数	平成17年	22年	増減数	
流入人口	総数	744,498	672,617	△ 71,881	656,244	599,085	△ 57,159	88,254	73,532	△ 14,722
	滋賀県から	24,386	22,233	△ 2,153	19,307	18,119	△ 1,188	5,079	4,114	△ 965
	京都府から	106,869	97,102	△ 9,767	93,569	86,674	△ 6,895	13,300	10,428	△ 2,872
	兵庫県から	366,674	339,087	△ 27,587	331,436	308,251	△ 23,185	35,238	30,836	△ 4,402
	奈良県から	185,833	162,434	△ 23,399	162,132	143,116	△ 19,016	23,701	19,318	△ 4,383
	和歌山県から 近畿以外から	34,151 26,585	30,625 21,136	△ 3,526 △ 5,449	27,237 22,563	24,927 17,998	△ 2,310 △ 4,565	6,914 4,022	5,698 3,138	△ 1,216 △ 884
流出人口	総数	262,063	257,303	△ 4,760	201,867	198,537	△ 3,330	60,196	58,766	△ 1,430
	滋賀県へ	9,786	9,991	205	7,008	7,164	156	2,778	2,827	49
	京都府へ	80,490	83,239	2,749	56,931	59,255	2,324	23,559	23,984	425
	兵庫県へ	108,364	108,280	△ 84	88,220	89,932	1,712	20,144	18,348	△ 1,796
	奈良県へ	30,462	28,583	△ 1,879	22,264	20,152	△ 2,112	8,198	8,431	233
	和歌山県へ 近畿以外へ	12,443 20,518	12,624 14,586	181 △ 5,932	8,734 18,710	8,884 13,150	150 △ 5,560	3,709 1,808	3,740 1,436	31 △ 372
流入超過人口	総数	482,435	415,314	△ 67,121	454,377	400,548	△ 53,829	28,058	14,766	△ 13,292
	滋賀県	14,600	12,242	△ 2,358	12,299	10,955	△ 1,344	2,301	1,287	△ 1,014
	京都府	26,379	13,863	△ 12,516	36,638	27,419	△ 9,219	△ 10,259	△ 13,556	△ 3,297
	兵庫県	258,310	230,807	△ 27,503	243,216	218,319	△ 24,897	15,094	12,488	△ 2,606
	奈良県	155,371	133,851	△ 21,520	139,868	122,964	△ 16,904	15,503	10,887	△ 4,616
	和歌山県 近畿以外	21,708 6,067	18,001 6,550	△ 3,707 483	18,503 3,853	16,043 4,848	△ 2,460 995	3,205 2,214	1,958 1,702	△ 1,247 △ 512

1) 15歳未満通学者を含む。

図 2-2 流入・流出人口、就業者及び通学者(近畿府県)(平成 22 年)



他県からの就業者の約7割は大阪市で従業

他県からの流入人口を就業者・通学者別に市町村別でみると、就業者・通学者ともに最も割合が高いのは大阪市となっているが、通学者については就業者に比べて分散する傾向となっている。

表 2-3 近畿府県から府内市町村への流入人口、就業者及び通学者(平成 22 年)

15歳以上就業者

順位	他県からの総数			近 畿 府 県														
				滋賀県から			京都府から			兵庫県から			奈良県から			和歌山県から		
	市	流入人口 (人)	割合 (%)	市	流入人口 (人)	割合 (%)	市	流入人口 (人)	割合 (%)	市	流入人口 (人)	割合 (%)	市	流入人口 (人)	割合 (%)	市	流入人口 (人)	割合 (%)
1	大阪市	413,654	69.0	大阪市	12,811	70.7	大阪市	50,157	57.9	大阪市	234,201	76.0	大阪市	94,215	65.8	大阪市	9,577	38.4
2	東大阪市	24,389	4.1	高槻市	1,062	5.9	枚方市	10,252	11.8	豊中市	16,230	5.3	東大阪市	16,324	11.4	堺市	3,374	13.5
3	豊中市	18,978	3.2	吹田市	981	5.4	高槻市	4,911	5.7	吹田市	11,931	3.9	八尾市	6,887	4.8	泉佐野市	2,083	8.4
4	吹田市	18,622	3.1	茨木市	712	3.9	吹田市	2,921	3.4	池田市	9,237	3.0	堺市	3,664	2.6	泉南市	1,711	6.9
5	枚方市	13,801	2.3	枚方市	430	2.4	茨木市	2,861	3.3	東大阪市	4,613	1.5	柏原市	3,196	2.2	河内長野市	1,506	6.0
6	堺市	12,518	2.1	豊中市	283	1.6	門真市	2,148	2.5	茨木市	4,375	1.4	吹田市	2,052	1.4	岸和田市	981	3.9
7	池田市	9,887	1.7	摂津市	277	1.5	東大阪市	2,146	2.5	堺市	3,927	1.3	大東市	1,840	1.3	阪南市	593	2.4
8	高槻市	9,511	1.6	門真市	230	1.3	寝屋川市	1,875	2.2	箕面市	3,428	1.1	門真市	1,739	1.2	貝塚市	543	2.2
9	八尾市	9,138	1.5	東大阪市	223	1.2	守口市	1,405	1.6	高槻市	2,805	0.9	枚方市	1,297	0.9	富田林市	528	2.1
10	茨木市	8,857	1.5	堺市	173	1.0	豊中市	1,161	1.3	門真市	2,643	0.9	羽曳野市	1,237	0.9	和泉市	501	2.0

通学者(15歳未満を含む)

順位	他県からの総数			近 畿 府 県														
				滋賀県から			京都府から			兵庫県から			奈良県から			和歌山県から		
	市	流入人口 (人)	割合 (%)	市	流入人口 (人)	割合 (%)	市	流入人口 (人)	割合 (%)	市	流入人口 (人)	割合 (%)	市	流入人口 (人)	割合 (%)	市	流入人口 (人)	割合 (%)
1	大阪市	25,854	35.2	大阪市	1,252	30.4	大阪市	2,859	27.4	大阪市	11,646	37.8	大阪市	7,523	38.9	大阪市	1,568	27.5
2	吹田市	9,208	12.5	吹田市	620	15.1	吹田市	1,475	14.1	吹田市	4,691	15.2	東大阪市	3,322	17.2	堺市	700	12.3
3	東大阪市	7,108	9.7	茨木市	505	12.3	枚方市	1,314	12.6	豊中市	2,437	7.9	吹田市	1,718	8.9	東大阪市	549	9.6
4	枚方市	4,122	5.6	枚方市	360	8.8	寝屋川市	758	7.3	東大阪市	2,015	6.5	柏原市	742	3.8	和泉市	316	5.5
5	豊中市	3,473	4.7	高槻市	257	6.2	高槻市	731	7.0	枚方市	1,416	4.6	大東市	704	3.6	吹田市	315	5.5
6	茨木市	2,734	3.7	寝屋川市	233	5.7	東大阪市	612	5.9	茨木市	1,354	4.4	枚方市	677	3.5	富田林市	241	4.2
7	大東市	2,730	3.7	大東市	200	4.9	大東市	579	5.6	大東市	1,025	3.3	堺市	601	3.1	熊取町	207	3.6
8	寝屋川市	2,349	3.2	東大阪市	181	4.4	茨木市	573	5.5	池田市	929	3.0	豊中市	383	2.0	岸和田市	171	3.0
9	堺市	2,242	3.0	豊中市	139	3.4	豊中市	320	3.1	高槻市	917	3.0	羽曳野市	375	1.9	河内長野市	154	2.7
10	高槻市	2,208	3.0	堺市	70	1.7	堺市	179	1.7	寝屋川市	832	2.7	寝屋川市	355	1.8	羽曳野市	151	2.7

3 昼間人口、夜間人口、昼夜間人口比率

大阪府の昼間人口は928万人で夜間人口を41万人上回る

平成22年における大阪府の昼間人口は928万560人で、夜間人口（常住地による総人口886万5245人）を41万5315人上回っている。

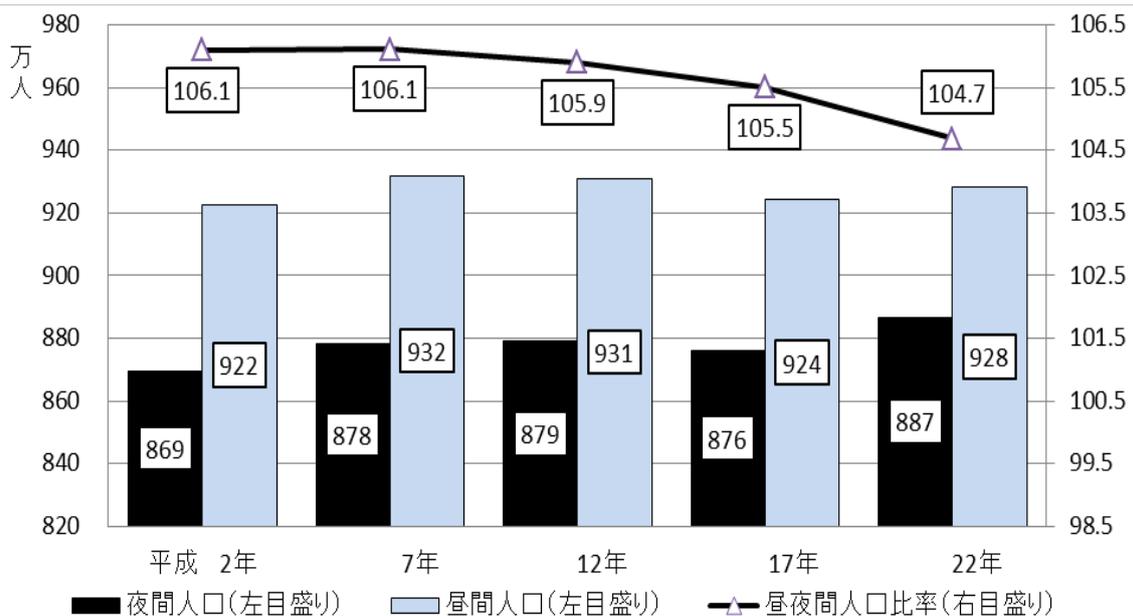
また、昼夜間人口比率については104.7で、平成7年をピークに低下している。

表3-1 夜間人口、昼間人口、昼夜間人口比率の推移(平成2~22年)

区分	夜間人口(人)	昼間人口(人)	昼夜間人口の差(人)	昼夜間人口比率
平成 2年	8,694,434	9,224,740	530,306	106.1
7年	8,781,295	9,318,312	537,017	106.1
12年	8,789,354	9,308,237	518,883	105.9
17年	8,759,033	9,241,468	482,435	105.5
22年	8,865,245	9,280,560	415,315	104.7

注)平成17年以前については年齢「不詳」を除く。

図3-1 夜間人口、昼間人口、昼夜間人口比率の推移(平成2~22年)



7市1町で昼間人口が夜間人口を上回る

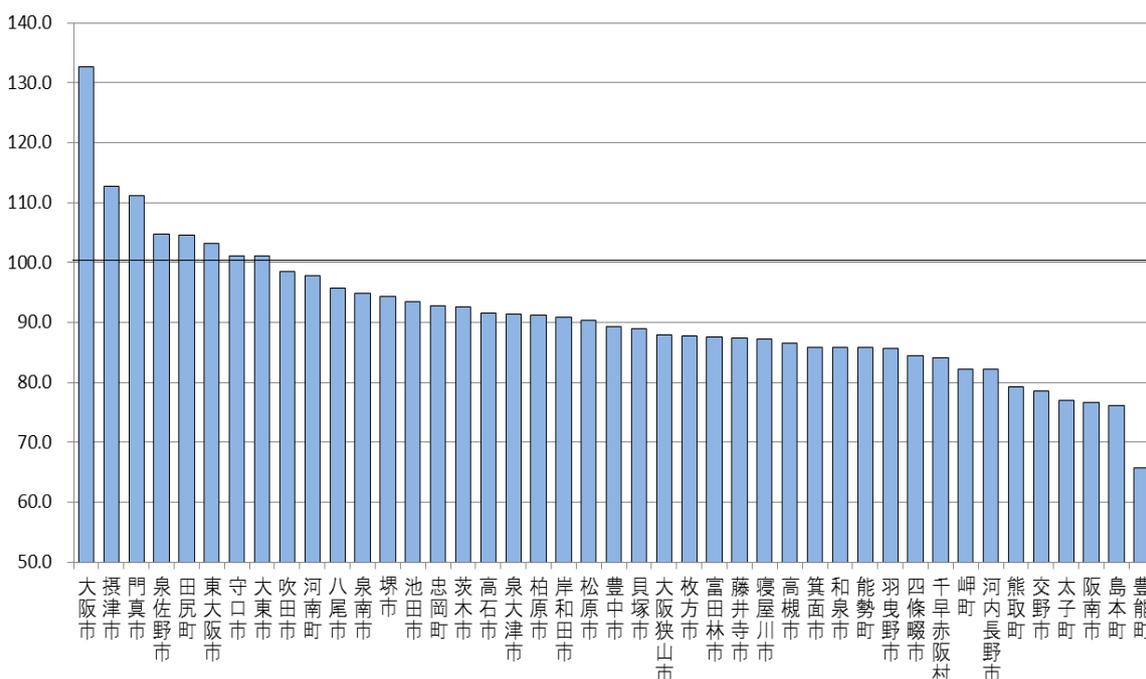
昼間人口を市町村別にみると、夜間人口と比べて増加しているのは大阪市、東大阪市、門真市など7市1町で、減少しているのは枚方市、高槻市、堺市など26市8町1村となっている。

また、昼夜間人口比率は、大阪市が132.8で最も高く、次いで摂津市が112.7、門真市が111.2などとなっている。

表3-2 夜間人口、昼間人口、昼夜間人口比率(市町村)(平成22年)

市町村	夜間人口(人)	昼間人口(人)	昼夜間人口の差(人)	昼夜間人口比率
大阪府	8,865,245	9,280,560	415,315	104.7
大阪市	2,665,314	3,538,576	873,262	132.8
堺市	841,966	794,507	△ 47,459	94.4
東大阪市	509,533	526,015	16,482	103.2
枚方市	407,978	358,077	△ 49,901	87.8
豊中市	389,341	347,467	△ 41,874	89.2
高槻市	357,359	309,233	△ 48,126	86.5
吹田市	355,798	350,816	△ 4,982	98.6
茨木市	274,822	254,351	△ 20,471	92.6
八尾市	271,460	259,814	△ 11,646	95.7
寝屋川市	238,204	208,014	△ 30,190	87.3
岸和田市	199,234	181,016	△ 18,218	90.9
和泉市	184,988	158,734	△ 26,254	85.8
守口市	146,697	148,401	1,704	101.2
門真市	130,282	144,849	14,567	111.2
箕面市	129,895	111,608	△ 18,287	85.9
大東市	127,534	128,974	1,440	101.1
松原市	124,594	112,696	△ 11,898	90.5
富田林市	119,576	104,806	△ 14,770	87.6
羽曳野市	117,681	100,801	△ 16,880	85.7
河内長野市	112,490	92,434	△ 20,056	82.2
池田市	104,229	97,397	△ 6,832	93.4
泉佐野市	100,801	105,572	4,771	104.7
貝塚市	90,519	80,467	△ 10,052	88.9
摂津市	83,720	94,321	10,601	112.7
交野市	77,686	61,052	△ 16,634	78.6
泉大津市	77,548	70,946	△ 6,602	91.5
柏原市	74,773	68,195	△ 6,578	91.2
藤井寺市	66,165	57,820	△ 8,345	87.4
泉南市	64,403	61,087	△ 3,316	94.9
高石市	59,572	54,572	△ 5,000	91.6
大阪狭山市	58,227	51,227	△ 7,000	88.0
四條畷市	57,554	48,640	△ 8,914	84.5
阪南市	56,646	43,460	△ 13,186	76.7
熊取町	45,069	35,728	△ 9,341	79.3
島本町	28,935	22,053	△ 6,882	76.2
豊能町	21,989	14,471	△ 7,518	65.8
忠岡町	18,149	16,830	△ 1,319	92.7
岬町	17,504	14,392	△ 3,112	82.2
河南町	17,040	16,679	△ 361	97.9
太子町	14,220	10,959	△ 3,261	77.1
能勢町	11,650	9,996	△ 1,654	85.8
田尻町	8,085	8,451	366	104.5
千早赤阪村	6,015	5,056	△ 959	84.1

図3-2 昼夜間人口比率(市町村)(平成22年)



★昼夜間人口比率、大阪市中央区は全国で2番目に高く、豊能町は2番目に低い★

ー全国1901市区町村ランキングからー

昼夜間人口比率を市区町村別にみると、府内では大阪市中央区が591.9で最も高く、全国2位（1位は東京都千代田区1738.8）となっている。次いで大阪市北区が346.7（全国6位）、大阪市西区が213.9（全国11位）などとなっている。

一方、豊能町が65.8で府内では最も低く、全国1900位（1901位は宮城県七ヶ浜町65.0）、次いで島本町が76.2（全国1872位）、阪南市が76.7（全国1863位）などとなっている。

表3-3 夜間人口、昼間人口及び昼夜間人口比率(市区町村)(平成22年)

市区町村	夜間人口 (人)	昼間人口 (人)	昼夜間 人口比率	大阪府 順位	全国 順位
大阪市 中央区	78,687	465,786	591.9	1	2
大阪市 北区	110,392	382,705	346.7	2	6
大阪市 西区	83,058	177,691	213.9	3	11
大阪市 天王寺区	69,775	116,468	166.9	4	21
大阪市 浪速区	61,745	97,184	157.4	5	27
大阪市 福島区	67,290	89,796	133.4	6	42
大阪市 淀川区	172,078	221,686	128.8	7	47
大阪市 此花区	65,569	78,925	120.4	8	60
堺市 堺区	148,748	173,014	116.3	9	73
摂津市	83,720	94,321	112.7	10	94
堺市 美原区	39,280	43,856	111.6	11	99
門真市	130,282	144,849	111.2	12	105
大阪市 住之江区	127,210	140,794	110.7	13	113
大阪市 阿倍野区	106,350	115,197	108.3	14	143
大阪市 港区	84,947	90,644	106.7	15	173
泉佐野市	100,801	105,572	104.7	16	218
田尻町	8,085	8,451	104.5	17	229
大阪市 大正区	69,510	72,508	104.3	18	238
大阪市 西淀川区	97,504	101,005	103.6	19	275
大阪市 西成区	121,972	125,958	103.3	20	294
東大阪市	509,533	526,015	103.2	21	297
大阪市 東成区	80,231	81,431	101.5	22	424
守口市	146,697	148,401	101.2	23	459
大東市	127,534	128,974	101.1	24	464
吹田市	355,798	350,816	98.6	25	720
大阪市 生野区	134,009	131,818	98.4	26	742
堺市 西区	133,622	131,131	98.1	27	769
大阪市 都島区	102,632	100,668	98.1	28	775
河南町	17,040	16,679	97.9	29	800
八尾市	271,460	259,814	95.7	30	962
泉南市	64,403	61,087	94.9	31	1030
大阪市 東淀川区	176,585	166,654	94.4	32	1071
大阪市 平野区	200,005	187,089	93.5	33	1136
池田市	104,229	97,397	93.4	34	1145
大阪市 旭区	92,455	86,277	93.3	35	1155
忠岡町	18,149	16,830	92.7	36	1195
茨木市	274,822	254,351	92.6	37	1206
堺市 中区	123,532	114,077	92.3	38	1224
高石市	59,572	54,572	91.6	39	1267
大阪市 住吉区	155,572	142,489	91.6	40	1268
泉大津市	77,548	70,946	91.5	41	1272
柏原市	74,773	68,195	91.2	42	1301
岸和田市	199,234	181,016	90.9	43	1317
松原市	124,594	112,696	90.5	44	1341
大阪市 城東区	165,832	149,853	90.4	45	1345
大阪市 東住吉区	130,724	117,409	89.8	46	1381
豊中市	389,341	347,467	89.2	47	1411
貝塚市	90,519	80,467	88.9	48	1432
大阪市 鶴見区	111,182	98,541	88.6	49	1446
大阪狭山市	58,227	51,227	88.0	50	1483
枚方市	407,978	358,077	87.8	51	1491
富田林市	119,576	104,806	87.6	52	1501
藤井寺市	66,165	57,820	87.4	53	1512
寝屋川市	238,204	208,014	87.3	54	1515
高槻市	357,359	309,233	86.5	55	1556
箕面市	129,895	111,608	85.9	56	1591
和泉市	184,988	158,734	85.8	57	1596
能勢町	11,650	9,996	85.8	58	1597
羽曳野市	117,681	100,801	85.7	59	1600
堺市 南区	154,779	131,746	85.1	60	1628
堺市 北区	156,561	132,465	84.6	61	1643
四條畷市	57,554	48,640	84.5	62	1646
千早赤阪村	6,015	5,056	84.1	63	1666
岬町	17,504	14,392	82.2	64	1732
河内長野市	112,490	92,434	82.2	65	1735
堺市 東区	85,444	68,218	79.8	66	1812
熊取町	45,069	35,728	79.3	67	1827
交野市	77,686	61,052	78.6	68	1840
太子町	14,220	10,959	77.1	69	1860
阪南市	56,646	43,460	76.7	70	1863
島本町	28,935	22,053	76.2	71	1872
豊能町	21,989	14,471	65.8	72	1900

4 従業地による就業者(産業別)

「宿泊業、飲食サービス業」、「医療・福祉」は自市区町村での従業者が多い

従業地による15歳以上就業者を常住地別の割合で見ると、「自市区町村に常住」する就業者は35.2%、「府内他市区町村に常住」する就業者は50.6%、「他県に常住」する就業者は14.2%となっている。

これを産業別で見ると(総数における産業別構成比1%以上で比較)、「自市区町村に常住」で多いのは「宿泊業、飲食サービス業」、「医療・福祉」、「生活関連サービス業、娯楽業」となり、「他県に常住」で多いのは「情報通信業」、「金融業、保険業」、「学術研究、専門・技術サービス業」となっている。

表 4-1 常住地・従業地による産業(大分類)、15歳以上就業者数(平成22年)

産業(大分類)	常住地による15歳以上就業者数 ¹⁾		従業地による15歳以上就業者数 ²⁾							
	数	構成比(※1)	総数		自市区町村に常住		府内他市区町村に常住等 ²⁾		他県に常住	
			数	構成比(※1)	数	構成比(※2)	数	構成比(※2)	数	構成比(※2)
総数	3,815,052	100.0	4,215,600	100.0	1,484,069	35.2	2,132,446	50.6	599,085	14.2
農業	17,960	0.5	17,813	0.5	15,737	88.3	1,743	9.8	333	1.9
林業	365	0.0	449	0.0	173	38.5	161	35.9	115	25.6
漁業	903	0.0	901	0.0	819	90.9	73	8.1	9	1.0
鉱業、採石業、砂利採取業	123	0.0	125	0.0	58	46.4	52	41.6	15	12.0
建設業	260,112	7.4	282,886	7.2	112,641	39.8	131,162	46.4	39,083	13.8
製造業	606,922	17.3	665,578	17.1	233,742	35.1	331,134	49.8	100,702	15.1
電気・ガス・熱供給・水道業	16,885	0.5	21,515	0.6	2,936	13.6	12,408	57.7	6,171	28.7
情報通信業	103,390	2.9	141,125	3.6	15,486	11.0	80,693	57.2	44,946	31.8
運輸業、郵便業	234,502	6.7	255,846	6.6	76,407	29.9	144,260	56.4	35,179	13.8
卸売業、小売業	683,497	19.5	768,585	19.7	276,352	36.0	372,702	48.5	119,531	15.6
金融業、保険業	99,205	2.8	127,407	3.3	17,260	13.5	74,813	58.7	35,334	27.7
不動産業、物品賃貸業	99,842	2.8	112,663	2.9	47,788	42.4	48,069	42.7	16,806	14.9
学術研究、専門・技術サービス業	121,658	3.5	151,230	3.9	39,155	25.9	74,593	49.3	37,482	24.8
宿泊業、飲食サービス業	226,900	6.5	236,551	6.1	116,892	49.4	101,707	43.0	17,952	7.6
生活関連サービス業、娯楽業	134,432	3.8	143,693	3.7	65,854	45.8	61,967	43.1	15,872	11.0
教育、学習支援業	158,891	4.5	175,175	4.5	53,100	30.3	93,022	53.1	29,053	16.6
医療・福祉	403,399	11.5	422,840	10.8	194,549	46.0	195,098	46.1	33,193	7.9
複合サービス事業	12,816	0.4	13,242	0.3	4,597	34.7	7,440	56.2	1,205	9.1
サービス業(他に分類されないもの)	232,674	6.6	258,511	6.6	87,185	33.7	134,859	52.2	36,467	14.1
公務(他に分類されるものを除く)	93,655	2.7	106,010	2.7	27,646	26.1	60,152	56.7	18,212	17.2
分類不能の産業	306,921	-	313,455	-	95,692	-	206,338	-	11,425	-

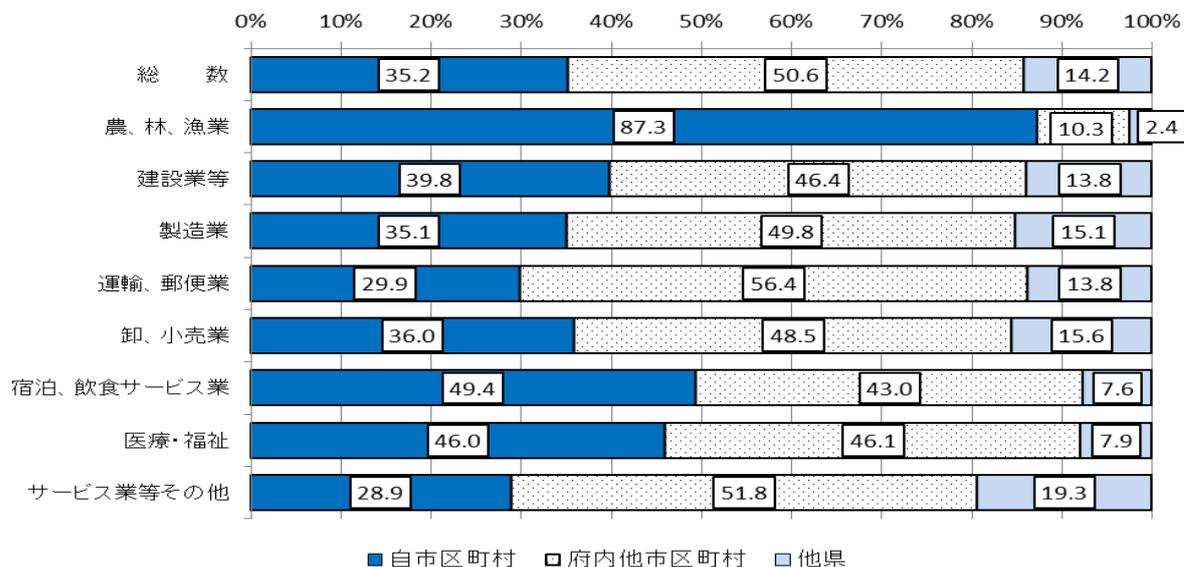
1) 従業地「不詳」を含む。

2) 従業地「不詳」で、当地に常住している者を含む。

※1 産業別構成比(「分類不能の産業」を除く)

※2 総数に対する各産業の常住地別構成比

図 4-1 従業地による産業(大分類)、15歳以上就業者の割合(平成22年)



注)

1 「建設業等」には、鉱業、採石業、砂利採取業を含む。

2 「サービス業等その他」には、サービス業(他に分類されないもの)、学術研究、専門・技術サービス業、生活関連サービス業、娯楽業、電気・ガス・熱供給・水道業、情報通信業、金融業、保険業、不動産業、物品賃貸業、教育、学習支援業、複合サービス事業、公務(他に分類されるものを除く)を含む。

「製造業」の割合では中河内地域で最も高く、「医療・福祉」の割合では南河内地域が最も高い

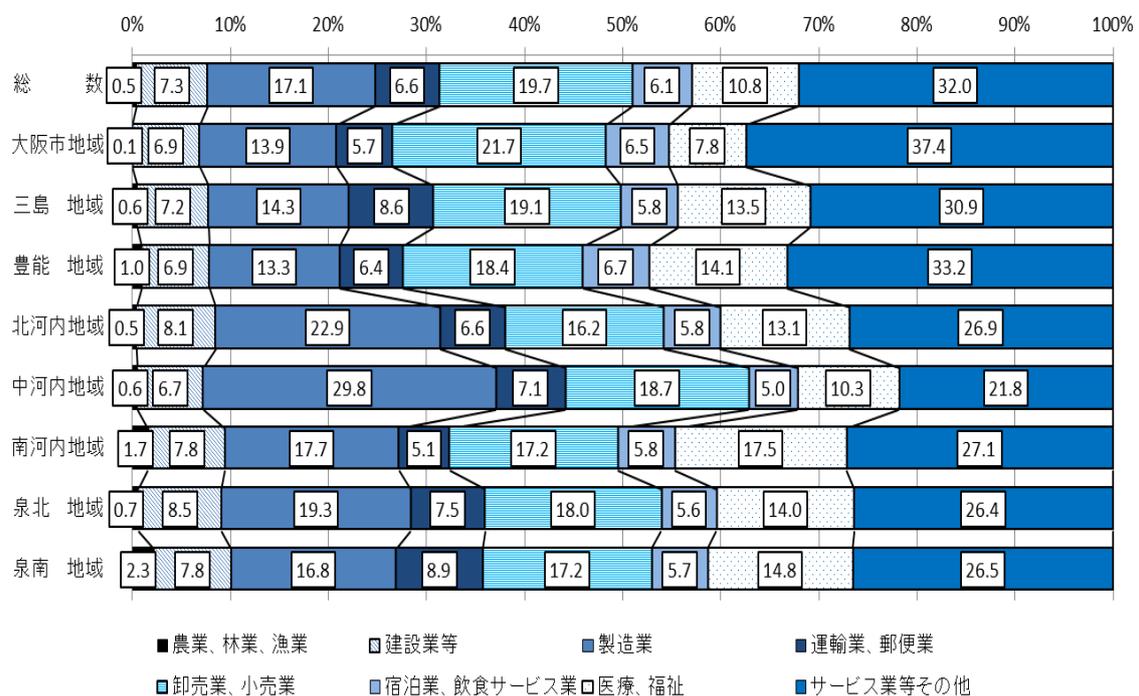
15歳以上就業者の従業地による産業大分類別割合を府内地域別にみると、「製造業」では中河内地域、北河内地域が高く、「卸・小売業」では大阪市地域、三島地域が高く、「医療・福祉」では南河内地域、泉南地域が高くなっている。

表 4-2 従業地による産業(大分類)、15歳以上就業者数(府内8地域)(平成22年)

産業(大分類)	総数	大阪市地域	三島地域	豊能地域	北河内地域	中河内地域	南河内地域	泉北地域	泉南地域
就業者数(人)									
総数	4,215,600	1,978,012	405,912	221,241	418,715	363,031	187,751	432,041	208,897
農、林、漁業	19,163	1,148	2,155	2,049	1,818	1,961	2,967	2,653	4,412
建設業等	283,011	126,432	27,143	13,897	31,112	22,484	13,328	33,305	15,310
製造業	665,578	256,873	53,856	26,817	88,329	100,331	30,491	76,089	32,792
運輸、郵便業	255,846	105,454	32,346	12,987	25,447	23,775	8,829	29,722	17,286
卸、小売業	768,585	400,199	71,680	37,143	62,566	62,925	29,509	70,995	33,568
宿泊、飲食サービス業	236,551	118,964	21,828	13,601	22,211	16,676	10,012	22,119	11,140
医療・福祉	422,840	144,278	50,526	28,455	50,573	34,760	30,082	55,213	28,953
サービス業等その他	1,250,571	688,558	115,877	67,030	103,725	73,250	46,617	103,891	51,623
割合(%)									
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
農、林、漁業	0.5	0.1	0.6	1.0	0.5	0.6	1.7	0.7	2.3
建設業等	7.3	6.9	7.2	6.9	8.1	6.7	7.8	8.5	7.8
製造業	17.1	13.9	14.3	13.3	22.9	29.8	17.7	19.3	16.8
運輸、郵便業	6.6	5.7	8.6	6.4	6.6	7.1	5.1	7.5	8.9
卸、小売業	19.7	21.7	19.1	18.4	16.2	18.7	17.2	18.0	17.2
宿泊、飲食サービス業	6.1	6.5	5.8	6.7	5.8	5.0	5.8	5.6	5.7
医療・福祉	10.8	7.8	13.5	14.1	13.1	10.3	17.5	14.0	14.8
サービス業等その他	32.0	37.4	30.9	33.2	26.9	21.8	27.1	26.4	26.5

※府内地域
 大阪市地域：大阪市
 三島地域：吹田市、高槻市、茨木市、摂津市、島本町
 豊能地域：豊中市、池田市、箕面市、豊能町、能勢町
 北河内地域：守口市、枚方市、寝屋川市、大東市、門真市、四條畷市、交野市
 中河内地域：八尾市、柏原市、東大阪市
 南河内地域：富田林市、河内長野市、松原市、羽曳野市、藤井寺市、大阪狭山市、太子町、河南町、千早赤阪村
 泉北地域：堺市、泉大津市、和泉市、高石市、忠岡町
 泉南地域：岸和田市、貝塚市、泉佐野市、泉南市、阪南市、熊取町、田尻町、岬町
 注) 割合の分母には「分類不能の産業」は含めていない。

図 4-2 従業地による産業(大分類)、15歳以上就業者の割合(府内8地域)(平成22年)



5 利用交通手段

「鉄道・電車」のみに次いで「自転車」のみの割合が高い

15歳以上自宅外就業者・通学者の利用交通手段別の割合をみると、「鉄道・電車」のみのみが28.6%と最も高く、次いで「自転車」のみのみが21.9%、「自家用車」のみのみが19.1%などとなっている。

これを市町村別にみると、「鉄道・電車」のみでは島本町、大阪市、吹田市が高く、「自転車」のみでは門真市、守口市、東大阪市が高く、「自家用車」のみでは能勢町、千早赤阪村、河南町が高くなっている。

表 5-1 利用交通手段別 15歳以上自宅外就業者・通学者の割合(市町村)(平成22年)

市町村	総数(人) 1)	1. 利用交通手段が1種類(%)								2. 利用交通手段が2種類(%)				3. 利用交通手段が3種類以上(%)	
		総数	徒歩だけ	鉄道・電車	乗合バス	自家用車	オートバイ	自転車	その他の合計	総数	鉄道・電車及び乗合バス	鉄道・電車及び自家用車	鉄道・電車及びオートバイ又は自転車		その他の合計
大阪府	3,887,509	84.7	6.8	28.6	1.3	19.1	5.6	21.9	1.4	14.0	4.6	0.7	6.7	2.1	1.3
大阪市	1,115,286	88.0	8.5	36.4	1.3	9.9	2.8	27.8	1.3	11.0	2.8	0.4	6.1	1.8	1.0
堺市	369,872	84.3	5.6	26.2	1.5	26.3	4.8	18.3	1.7	14.4	4.7	0.7	6.6	2.3	1.4
岸和田市	87,677	86.4	4.7	19.7	0.4	36.5	4.9	18.4	1.7	12.5	2.5	0.9	6.6	2.5	1.1
豊中市	178,934	82.3	6.8	32.7	2.4	14.9	6.5	17.4	1.7	16.2	7.9	0.7	5.5	2.2	1.4
池田市	47,144	81.8	10.5	28.1	2.6	16.7	6.9	15.9	1.2	16.9	9.0	0.6	5.4	2.0	1.3
吹田市	169,313	83.2	8.1	36.1	1.4	12.9	6.1	17.2	1.4	15.4	5.7	0.7	7.1	1.9	1.4
泉大津市	34,197	87.3	5.0	27.1	0.3	27.6	3.4	22.2	1.6	11.7	1.8	0.7	6.3	3.0	1.0
高槻市	159,533	72.5	5.1	18.2	2.7	16.9	8.5	19.7	1.3	24.9	10.9	0.6	11.0	2.4	2.7
貝塚市	41,355	87.8	5.2	22.4	0.1	39.7	5.0	14.2	1.3	11.1	2.6	0.9	5.4	2.1	1.1
守口市	61,094	86.2	7.4	26.0	0.6	14.0	4.3	32.4	1.5	12.7	2.0	0.4	8.5	1.8	1.1
枚方市	183,914	79.3	5.8	26.1	2.9	19.8	9.3	14.2	1.2	19.1	9.5	0.6	6.9	2.1	1.6
茨木市	128,676	79.7	5.8	25.5	1.6	16.5	7.4	21.2	1.7	18.5	5.6	0.6	9.8	2.5	1.8
八尾市	116,974	87.9	5.7	25.3	0.5	19.4	6.4	29.4	1.0	11.2	1.8	0.5	6.9	2.0	1.0
泉佐野市	44,801	86.7	4.9	23.5	0.3	37.7	4.3	13.9	2.1	12.1	2.0	1.0	6.6	2.4	1.2
富田林市	54,318	82.9	6.1	21.1	1.2	34.3	6.6	11.6	2.1	15.8	7.2	1.0	5.2	2.3	1.3
寝屋川市	108,000	81.8	5.9	24.3	0.9	17.6	8.3	23.6	1.2	16.7	5.5	0.5	8.8	2.0	1.5
河内長野市	48,844	77.9	5.5	25.5	0.8	33.6	5.4	5.9	1.1	20.4	12.0	1.7	4.8	1.9	1.7
松原市	55,166	87.8	5.9	23.9	0.5	21.4	6.8	28.1	1.2	11.3	1.7	0.4	7.3	1.9	0.9
大東市	57,932	88.5	7.3	25.5	0.5	16.9	8.5	28.5	1.4	10.6	1.4	0.4	6.8	2.0	0.9
和泉市	81,704	82.9	5.9	19.3	1.1	36.9	6.6	11.4	1.8	15.5	6.3	1.2	5.9	2.2	1.6
箕面市	60,511	79.2	7.3	19.3	4.2	21.7	8.9	15.9	1.8	19.1	10.9	0.9	4.5	2.8	1.7
柏原市	35,324	88.1	7.3	32.6	0.1	20.9	8.5	17.4	1.3	11.1	1.1	0.7	7.3	2.0	0.8
羽曳野市	52,255	84.1	4.6	21.6	0.6	28.8	8.8	18.2	1.4	14.5	4.9	0.6	6.7	2.4	1.3
門真市	54,482	87.7	6.2	22.2	0.3	16.7	6.6	34.2	1.5	11.3	2.2	0.3	7.0	1.8	1.0
摂津市	38,929	86.3	7.0	21.2	0.9	19.5	9.0	27.3	1.5	12.5	2.5	0.5	7.1	2.4	1.2
高石市	26,227	88.7	4.4	33.6	0.1	24.8	2.9	21.6	1.3	10.4	1.7	0.7	5.0	3.0	0.9
藤井寺市	29,261	86.1	5.2	28.0	0.6	23.0	6.6	21.4	1.4	12.9	2.1	0.6	7.6	2.6	1.0
東大阪市	222,417	88.8	6.7	25.4	0.4	16.8	7.5	30.6	1.5	10.3	1.5	0.5	6.2	2.1	0.9
泉南市	26,167	87.0	4.4	21.6	0.2	43.2	5.6	11.0	1.1	11.9	1.7	1.3	7.3	1.7	1.1
四條畷市	24,334	82.6	6.4	25.8	1.2	23.5	9.4	14.8	1.4	16.3	7.1	0.7	6.5	1.9	1.2
交野市	35,639	84.2	6.1	32.1	0.5	22.2	9.7	12.6	0.9	14.6	3.7	1.0	8.1	1.7	1.3
大阪狭山市	26,634	82.8	6.1	23.0	1.5	32.6	7.0	11.3	1.3	15.7	6.8	0.9	5.8	2.2	1.5
阪南市	24,529	82.2	3.7	23.5	0.2	40.8	4.7	8.0	1.3	16.1	3.6	2.3	8.1	2.1	1.7
島本町	14,080	81.1	5.7	41.2	0.3	13.8	5.5	13.7	0.9	17.1	7.0	0.7	7.4	2.0	1.8
豊能町	10,216	78.6	5.6	31.3	2.9	33.3	3.2	0.9	1.3	19.1	12.3	2.4	1.8	2.7	2.3
能勢町	5,285	78.7	4.9	4.1	1.1	60.5	2.7	4.0	1.3	18.5	5.3	10.3	1.0	1.9	2.8
忠岡町	7,301	88.3	5.6	22.6	0.1	33.1	4.1	21.5	1.3	10.7	1.2	0.5	6.8	2.3	1.0
熊取町	21,492	79.5	4.2	13.6	0.6	41.9	8.6	9.0	1.6	18.5	5.3	2.7	8.5	2.0	2.0
田尻町	3,654	83.8	4.0	24.8	0.1	35.7	3.5	14.2	1.6	14.6	4.2	0.7	7.4	2.3	1.6
岬町	7,250	86.2	5.2	28.8	0.4	43.3	2.5	4.6	1.5	12.5	3.3	1.7	5.4	2.1	1.3
太子町	6,554	81.6	5.2	17.3	0.4	43.3	8.5	5.4	1.6	17.0	4.3	2.8	7.9	1.9	1.4
河南町	7,676	76.7	7.8	4.3	1.3	49.0	6.6	6.5	1.1	21.0	10.6	4.4	4.0	2.0	2.3
千早赤阪村	2,558	75.3	3.5	5.2	1.6	56.1	5.5	1.9	1.6	22.7	13.1	5.4	2.3	1.9	2.0

1) 利用交通手段「不詳」を含む。

★ 能勢町では7割以上の人が通勤・通学に自家用車を利用 ★

表 5-2 主な利用交通手段別就業者・通学者の割合(市町村)(平成 22 年)

順位	鉄道・電車のみ利用者		順位	自転車のみ利用者		順位	自家用車利用者	
	市町村	割合 (%)		市町村	割合 (%)		市町村	割合 (%)
1	島本町	41.2	1	門真市	34.2	1	能勢町	70.7
2	大阪市	36.4	2	守口市	32.4	2	千早赤阪村	61.5
3	吹田市	36.1	3	東大阪市	30.6	3	河南町	53.4
4	高石市	33.6	4	八尾市	29.4	4	太子町	46.1
5	豊中市	32.7	5	大東市	28.5	5	岬町	45.0
6	柏原市	32.6	6	松原市	28.1	6	熊取町	44.6
7	交野市	32.1	7	大阪市	27.8	7	泉南市	44.4
8	豊能町	31.3	8	摂津市	27.3	8	阪南市	43.1
9	岬町	28.8	9	寝屋川市	23.6	9	貝塚市	40.6
—	【大阪府】	28.6	10	泉大津市	22.2	10	泉佐野市	38.7
10	池田市	28.1	—	【大阪府】	21.9	11	和泉市	38.1
11	藤井寺市	28.0	11	高石市	21.6	12	岸和田市	37.5
12	泉大津市	27.1	12	忠岡町	21.5	13	田尻町	36.4
13	堺市	26.2	13	藤井寺市	21.4	14	豊能町	35.7
14	枚方市	26.1	14	茨木市	21.2	15	河内長野市	35.3
15	守口市	26.0	15	高槻市	19.7	16	富田林市	35.2
16	四條畷市	25.8	16	岸和田市	18.4	17	忠岡町	33.6
17	大東市	25.5	17	堺市	18.3	18	大阪狭山市	33.5
18	河内長野市	25.5	18	羽曳野市	18.2	19	羽曳野市	29.5
19	茨木市	25.5	19	柏原市	17.4	20	泉大津市	28.2
20	東大阪市	25.4	20	豊中市	17.4	21	堺市	27.0
21	八尾市	25.3	21	吹田市	17.2	22	高石市	25.5
22	田尻町	24.8	22	箕面市	15.9	23	四條畷市	24.3
23	寝屋川市	24.3	23	池田市	15.9	24	藤井寺市	23.5
24	松原市	23.9	24	四條畷市	14.8	25	交野市	23.1
25	阪南市	23.5	25	田尻町	14.2	26	箕面市	22.6
26	泉佐野市	23.5	26	枚方市	14.2	27	松原市	21.8
27	大阪狭山市	23.0	27	貝塚市	14.2	28	柏原市	21.6
28	忠岡町	22.6	28	泉佐野市	13.9	29	枚方市	20.4
29	貝塚市	22.4	29	島本町	13.7	30	摂津市	19.9
30	門真市	22.2	30	交野市	12.6	31	八尾市	19.9
31	羽曳野市	21.6	31	富田林市	11.6	—	【大阪府】	19.7
32	泉南市	21.6	32	和泉市	11.4	32	寝屋川市	18.1
33	摂津市	21.2	33	大阪狭山市	11.3	33	高槻市	17.5
34	富田林市	21.1	34	泉南市	11.0	34	大東市	17.3
35	岸和田市	19.7	35	熊取町	9.0	35	池田市	17.3
36	箕面市	19.3	36	阪南市	8.0	36	東大阪市	17.3
37	和泉市	19.3	37	河南町	6.5	37	茨木市	17.1
38	高槻市	18.2	38	河内長野市	5.9	38	門真市	17.0
39	太子町	17.3	39	太子町	5.4	39	豊中市	15.6
40	熊取町	13.6	40	岬町	4.6	40	島本町	14.6
41	千早赤阪村	5.2	41	能勢町	4.0	41	守口市	14.3
42	河南町	4.3	42	千早赤阪村	1.9	42	吹田市	13.6
43	能勢町	4.1	43	豊能町	0.9	43	大阪市	10.3

注) 「自家用車」のみと「鉄道・電車及び自家用車」の合計